

02 親しむ

- ・身近な動植物への接し方について考える
- ・身近な動植物に親しみや優しさを持って接する
- ・身近な動植物を命あるものとしていたわり、大切にする
- ・命の尊さに気づく
- ・普段とは違う生活環境で、自然や文化に親しむ

取組事例

02

大木から園庭遊具をつくろう

～ 身近な環境を通して木の命を知り、活かすことの大切さを学ぶ ～

社会福祉法人いなべ市社会福祉協議会 やまさと 山郷保育園 5歳児



木の伐採作業を見ている様子

実施時期	令和5年12月
実施場所	園周辺の雑木林、園庭
時間	6時間
対象・人数	5歳児 33人
講師	いなべ市集落支援員1名 (田端昇氏)
備考	独自取組

めざす姿	02 親しむ (01 遊び・楽しむ、03 興味・関心を持つ)
ねらい	大木に触れ、親しみの心を持ち、感性を豊かにする
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・木の伐採を見学し、林内の明るさが変化する様子を観察する ・伐採した木を造材し、園庭に運ぶ作業を手伝う ・丸太から園庭遊具（テーブルやイス等）をつくる作業を手伝う ・出来上がった遊具で遊ぶ
学習指導要領との関連	つくる（幼児） 感じる・触れる・遊ぶ（幼児）、面白さ・不思議さ・遊び・観察（小学1～2年生生活）、楽しむ（小学1～4年生道徳）



チェーンソー造材でできた材を確認している様子



丸太をどのように使おうか？考えている様子



できた遊具で遊んでいる様子

子どもの反応	<ul style="list-style-type: none"> ・目的がはっきりしていたため、やるべきことに全力で取り組む姿がみられました。大木が活着しているということを知りました。
保護者のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな感覚をフル回転できた活動でした。中でも木の肌の感触や大木が倒れ込むときの音と重さに驚きと感動がもたらされました。